

2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[七尾市立小丸山小学校] 担当教諭名[花村 留以子] (3年1組 30名)

交流相手国[アメリカ]

海外学校名[Van R. Butler Elementary School] 担当教諭名[Constance Rogers]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	アートマイル	20
	国語	ローマ字	2

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Our City, Local Event and Play in School
絵に込めたメッセージ	日本や地元七尾の良さを知ってもらうために、自然(富士山・桜)・年中行事(正月・節分)祭り(奉灯・花火)学校生活の4つに絞って紹介した。また、アメリカの生活も知ること、互いの国のよいところを考える機会としたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・日本や七尾の良さを伝えるために何を紹介するかを考えることで、自分達の生活について、考える良いチャンスとなった。 ・絵に表現するために、グループで活動することで仲間意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手国とのやりとりを行う時間的なゆとりがなく、回数が少なかった。 ・児童を巻き込んだ交流を工夫できなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べてアメリカや世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
アートマイルをする前は真っ白の布だったけど、私たちが描くと、残りの半分はアメリカの子どもたちが描くところがありました。そして、帰ってきた絵を見たら、日本のことに合わせてアメリカのことが描いてあって、まるで「問い」と「答え」のようになっていました。アメリカのこともわかって、アートマイルは楽しいと思いました。	交流は言葉や時差のこともあり、十分にはできなかった。しかし、アメリカとの交流を通して、自国と他国の文化や学校の違いなどを児童と考えることができたり、絵という手段を通して、交流することのすばらしさを知ることができたりした。そのことで、教師自身が国際交流を身近に考えることができるようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	8月～11月	・アメリカについて地球儀や写真などを通して知る。 ・ローマ字で自分の名前や好きなものを書いて自己紹介をする。	・アメリカについて、地球儀を使って、位置や日本との距離を知った。 ・アメリカ出身の交流員からも学校の様子などを聞いて興味を持っていた。	総合2 国語2
テーマ学習	9月	・アメリカに知ってほしい、日本・七尾・学校の様子について考え、話し合いを行う。	・日本の自然・行事・祭り・学校の様子を知ってほしいと考え、何を絵で表すと良いところが伝わるかを一人一人が積極的に考え、クラス全員で内容を決定することができた。	総合4
構図決定	11月	・アメリカに伝えたい日本の様子を祭り・行事・自然・学校の4グループに分かれ、一人ひとりが絵に表す。	・グループ内でどのような構図でアメリカに伝えれば喜んでもらえるのかを話し合った結果一つの枠にいくつかの内容を盛り込むことにした。	総合6
壁画制作	12月	・4グループに分かれて、下絵を描いて色塗りをする。	・色の混ぜ方や塗り方を昨年経験した4年生から聞きながら、丁寧に塗った。 ・お互いにアドバイスをしながら良い絵にしようとしていた。	総合6
鑑賞・振り返り	3月	・完成した作品を鑑賞し、感想を交流する。	・自分たちの絵と呼応した内容になっていたことを見つけて感心していた。 ・絵を通して、アメリカの行事や子供たちにさらに関心を持つようになった。 お礼の気持ちを英語を使って、動画で伝えることができた。	総合2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	テーマ決定時に日本や地域のことについて考えていた。
異文化の理解	A	4	自分たちと比べながらアメリカについて興味をもっていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	グループ同士の交流やローマ字を使っての自己紹介を進んで行っていた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	2	アメリカを知る活動や子供同士の交流があまりできなかった。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	絵を描くグループ内ではよく協力できていた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	下絵を描くときも色塗りも話し合いながら分担して全員で関わることができた。
学習を追究する意欲	B	4	テーマ決定から絵を描く活動に意欲的に取り組んでいた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	テーマに合った下絵・色塗りを工夫しながら楽しんでいった。
作品を鑑賞する力	A	5	自分たちの絵と相手の絵を比べながら描かれている内容や色の塗り方などのよさを認めていた。